

地域で育てよう！ふるさとを愛する中名田の子ども

小浜市立中名田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	3回(のべ) 11日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	19人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	21人
その他(畑の柵作り)	3人

(3) 特色ある活動

テーマ「登下校の安全確保」

具体的活動内容

東北大震災を受け、児童の安全を守るために、改めて通学路や地区内の危険箇所を確認し、「通学路・地域安全マップ」を作成する活動を実施した。危険箇所については、「災害」「交通事故」「不審者」「熊の出没」の4種類に分類して調査活動を行うことにした。

【活動の流れ】

- 10月17日に開催した第2回地域・学校協議会において、地域の防災について話し合いの場を持った。その結果、大雨の時に怖いのは、小さな谷川であることや山からの水の流れに気をつける必要があること、橋の上の風が強いこと、雷がよく落ちる場所、土砂崩れの起きやすい場所など学校だけではわからない貴重な情報を得た。
- 10月24日に開催したPTA委員会において、活動の趣旨を説明して危険箇所の調査および親子下校での現地確認の協力を依頼した。
- 地域・学校協議会と保護者の方から得た情報を5、6年生が地区別の地図に記入する活動を行った。
- 3で作成した地図を持って、11月13日の授業参観およびPTA親子ふれあい活動の日に「親子下校」を実施し、通学路と地区内の危険箇所を実際に確認して歩いた。教員も各地区に別れて同行し、一緒に現地確認を行った。
- 現地で確認した場所と状況、写真をもとに教員が分担し、パソコンで地区別の地図に入力し、安全マップが完成した。



完成した安全マップは、児童や地域・学校協議会、見守り隊の方に配布し、学年はじめや夏季休業前などに、これを活用して危険箇所の確認を行い、児童の安全確保に役立てていきたいと考えている。



成果と課題

地域の危険箇所については、長年その土地に住んでいる人が一番よく知っているもので、地域と家庭の協力を得ることが必要不可欠である。今回の活動は、地域・家庭・学校がそれぞれの役割を担いながら連携して取り組むことができ、地域みんなで子どもの安全を守ろうとする意識の高まりにつながった。今後も学校が目指している教育活動の意図を地域・学校協議会を軸として、十分に理解してもらい協力を得ることが大変重要である。

